

京都府立久美浜高等学校

農業クラブ

京丹後市久美浜町における海岸マツ林の再生を目指して

①マツの学習、京都府・京丹後市職員による講義、②マツ林でのボランティア活動、除草や除伐、芯止め等、③植樹後の管理・生育調査、植樹地の下刈り、樹高・根元径の測定、④「森林・林業交流研究発表会」など各種シンポジウムに参加・発表。



京都府立綾部高等学校

分析化学部

地域と歩む由良川保全プロジェクト ～由良川レンジャー奮闘記part2～

由良川の化学的・生物的水質調査、環境出前授業、清掃活動など安全安心な食料生産の確保、生物多様性保護のために取り組んでいる。由良川クリーン作戦は地域に定着してきた。第7回目の今回は、過去最高の230名の方が参加。



京都府立木津高等学校①

ソーシャルビジネス研究班

Kakishibuを世界基準に

マイクロプラスチック問題に着目、「柿渋」を使用する解決プランを考えた。木津川市は日本三大渋柿「天王柿」の産地。ビニール袋の代わりに新聞紙を柿渋でコーティングした紙袋を作成。現在、企業と柿渋紙袋の大量生産に向けて協議中。



京都府立木津高等学校②

園芸部 田んぼ隊

お米を化学肥料の力を借りず作りつづけるとどうなるのか

化学肥料を使用しなくても採算がとれるお米作りに取り組む。微生物の働きに注目すると人と田んぼと微生物の深いつながりの一端が見えてきた。循環型農業の鍵を握る微生物の働きと田んぼ作業と人間の健康との関連性を解明したい。



大阪府立長尾高等学校

理科学研究部

船橋川の水質定点モニタリング

①水質調査…月に最低1回、船橋川の天気、気温、水温、水質について調査。②防災…大阪府北部地震と台風による被害とその復旧の状況を調査。地すべり地の現地調査。③水質環境啓発…全国的に、また地元で研究発表。



関西創価高等学校

理科環境部

学校の生態系を守れ！外来生物を釣って肥料に

学校の池に特定外来生物のブルーギルとアメリカザリガニを発見。釣りをして駆除。さらに釣った外来生物の粉末肥料を作成。その有効性を確かめるため、ウキクサ、コマツナ、レタスなどの植物を育てる際、土壌に添加する実験を行っている。



早稲田摂陵高等学校

Crazy Clever Science

“ペットボトル・トラス” × 未来のエネルギー 「水素」 × 机の上の竜巻

ペットボトルを使ってリサイクルのシンボルとなるもの=ペットボトル・トラスを作成し、化石燃料の枯渇と資源のリサイクルの大切さを訴える。未来のエネルギーとして期待されている水素について正しく理解する実験、活動を進めている。



大阪府立園芸高等学校

ビオトープ部 蝶ハッピーチーム

企業と連携したバタフライガーデンづくり

「蝶の成虫が蜜を吸う吸蜜植物」と「幼虫が食べる食餌植物」をバタフライガーデンに植栽する。今までに食餌植物、吸蜜植物、花壇用植物、野菜苗を総数で36,000ポット、無償で配布。植栽することで、蝶をはじめとした様々な生物が復元した。



大阪府立刀根山高等学校

生物エコ部

地域の生物多様性を守り楽しむ！

校内や周辺地域の生物の多様性を維持し、豊かにするための様々な取り組みを続けている。生物種のリストや標本作成、希少種の保護増殖、3種類のホタルを再生など。希少となった植物や水生生物が校内のビオトープで着実に殖えている。



学校法人大阪学園大阪高等学校

科学探究部

環境DNAを利用した淀川水系河川における生物相調査と生物保全の実践活動

環境調査では、淀川など河川の水の汚れ度合いや環境DNAを調べる。環境保全では、生物を保全するための清掃活動を行う。環境教育では、箕面市や吹田市で市民参加型体験講座を企画・実施し、環境保全の重要性を伝える啓発活動を行った。



清風高等学校

アオコ班

水環境の新たな改善方法～アオコの抑制とヘドロの再利用方法～

絶滅危惧IA類指定のニッポンバラタナゴの保護を行っている。保護池を増やそうと考え、アオコがよく発生する池を訪れ、表層アオコヘドロを除去することを繰り返す。このヘドロの有効活用法としてヘドロの肥料化実験を試みている。



大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程

エコ・プロジェクト

美しい地球を次世代に～捨てればゴミ、活かせば資源～

ライフラインが重要だと考え、バイオディーゼル発電機、電気自動車、電動マリオカートを製作。有事の際、地域や被災地で活用できる。ドローンで避難経路マップを作製。環境保全マップも作製中。一万人のエコキャンドル・ナイトも実施。

